

隊友投稿記事

令和2年11月18日、神奈川県隊友会県北支部（支部長 藤井照正）は、支部長以下4名（支部長、二町悦雄副支部長、三佐尾泰臣防災担当理事、町屋幸広防災担当理事）により座間市長（佐藤弥斗（みと）氏）を表敬訪問した。座間市では、女性市長としては初めての市長であり、本年10月に就任した。

県北支部は、座間市と平成28年10月に防災協定を締結していることもあり、藤井支部長から隊友会としての挨拶と締結している防災協定の更なる具現化のため調整を進めていきたいと報告した。

佐藤市長からは、歓迎のお言葉と、隊友会が危機管理のスペシャリストとして防災等に係る知識や技能を座間市に提供して頂きたいと要望があった。

その後、防災協定の更なる具現化を図るため、座間市長室危機管理課長（自衛隊OBとして第2代）の神宮寺康弘氏（会員）と約2時間にわたり検討会を実施した。県北支部は、相模原市とも防災協定を締結しており、緊急輸送道路等の経路上にかかる橋が通行可能なのか等の情報を、県北支部が管理するLINE等を通じて提供すること検討していると提案した。

今後も引き続き、県北支部と両市の防災協定が更に具体化し、隊友会の活動が両市民の災害対策の一躍を担うよう検討を深化していきたいと考えている。

（神奈川県隊友会 県北支部 防災担当理事 町屋幸広）



左から、石川市長室長、町屋理事、藤井支部長、佐藤市長、二町副支部長、三佐尾理事、神宮寺危機管理課長